



一生懸命 から生まれる 文化

～ 令和7年度輝汐祭閉会式校長講評より ～

生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様、そして支えてくださった先生方、本日は本当にありがとうございました。汐入の街に、三中生徒のみなさんの声が響きました。太鼓や吹奏楽器や琴の調べが響きました。今日は、輝汐祭というすてきな一日になりました。

1月の展示の部と併せて、この輝汐祭は、私たちの文化を披露し、私たちの文化を楽しむ日です。今日一日と、今日に至るまでの準備の期間、皆さんは、自分たちの文化をつくり、表現し、共有してくれました。

ところで、ここで言う、私たちの「文化」とはなんでしょう。

私たち荒川区立第三中学校は、一週間後の11月1日に79回目の開校記念日を迎えます。

本日おいていただいた皆様の中にも、本校を卒業された先輩方がたくさんいらっしゃいます。

卒業証書の左上に記されるのですが、これまで8019人の皆さんがこの学校で学び、社会へと巣立っていききました。本日の輝汐祭も、こうした先輩方が連綿と築いてきた荒川三中の歴史の中に連なっています。

廊下に掲示されている写真を見ると、歳月の中で汐入の街が変化をしてきたことが分かります。同じように、この学校も大きく変わってきたことと思います。それは、建物や道路といった形が変わってきたことだけではありません。この汐入に暮らし、この学校に通い、日々を過ごしてきた皆さんの顔ぶれが変わってきた。ここに、今日の発表の大きな意味があるのだと思います。



毎日をなんとなく送ってきたのではなく、この輝汐祭に皆さんが一生懸命に取り組んだように、この社会や学校を通して一緒に過ごしてきた多くの皆さんも、きっと一生懸命に生きてきたのだと思います。その先輩方の一生懸命の上に、今日この舞台上で皆さんが一生懸命作ってきた作品が発表されました。この一生懸命な毎日の積み重ねを、この街の、そしてこの学校の文化と呼ぶのだと思います。

皆さんも、この数週間だけでなく、特に三年生は入学してから今日まで一生懸命頑張ってきたことを全てぶつけて、今日の舞台をつくりました。これこそが、本日、この瞬間の生徒の皆さんの文化なのだと思います。

今日のために、先週から本格的に合唱のクラス練習が始まりました。私はこの2週間、時間の許す限り、皆さんの練習の様子をみて回りました。短い時間ではありましたが、一生懸命な皆さんの中を泳ぐように歩くのは、とても楽しい時間でした。



合唱とは、不思議なものです。太鼓も吹奏楽も琴も同じです。時間と場所を共有した仲間が、一緒に一つのものをつくりあげていきます。楽譜に並んだ記号を基に、音程とリズムと歌詞を合わせて声や音を出していきます。



しかし、そこにあるのは忠実な作品の再現だけではありません。歌詞やメロディーをどのように解釈し、どう伝えるか、ここに意味があると思うのです。

1人では簡単なことも、仲間と合わせるにはお互いの理解と協働が必要です。ですから粘り強く練習を重ね、一つのものにする時間が必要になります。

こうして生まれた音楽は、ここにいる演じるメンバーたちがつくりあげる、そしてここにいるメンバーにしかつくりだせない、表現作品として形になります。

合わせるのは「声」や「音」だけではなく、「心」。

今日の本番、たった一度のステージで、一回だけの一曲でした。そのたった一回の今日の舞台上、一つになった心が届いた分、今日の表現は聴き手の胸に深く響いたのだと思います。

合唱や楽器の演奏だけではありません。輝汐祭の舞台、そして日々の学び舎にかがやく個性は、どれもが仲間とともに紡いだ日頃の学びの結晶です。ですから、今日これだけのことができたその先、明日から生まれる、次の文化も楽しみにしています。この経験と達成感を胸に、これからの学校生活でも新しい文化を創り出していきましょう。

荒川三中って本当にいい学校ですね。 みなさん、お疲れさまでした。

《 保護者・地域の皆さまへ ご報告と御礼 》

去る10月25日（土）に、令和7年度荒川区立第三中学校「輝汐祭（合唱コンクールの部、舞台発表の部）」を行いました。当日までにご家庭や地域で支えてくださった皆さまには、無事に実施することができましたことのご報告と御礼を申し上げます。

舞台の幕明けを飾ったのは三組祭り太鼓。全校で「わっしょい」の掛け声で祭りの開催を盛り上げました。

荒川区中学校連合英語発表会で披露されたスピーチとパフォーマンスは、流暢な英語がコミュニケーションのすばらしさを感じさせてくれました。

午後の箏曲部の演奏は、凜とした居ずまいが美しく、体育館を別世界に変えてくれました。

また、吹奏楽部はこれにて部活動を控えることになる三年生との合奏でもあり、テンポよく熱のこもった演奏で、盛り上がりは全校の一体感を生みました。

そして、学年合唱と学級別合唱のコンクール。クラスそれぞれの個性のある合唱が響きます。特に、次元の異なる心意気なものすごい迫力であった三学年の舞台に、聴衆の気持ちは吸い込まれ、魅せられました。

どの一面を切り取っても、この荒川三中の、今の仲間でないと思えない「文化」がかがやく素晴らしい一日であったと思います。

ここを次のスタート地点として、新しく生まれる明日の生徒のかがやきが、とても楽しみです。ご期待とご支援をよろしくお願いいたします。

《 練習風景のご紹介 》

令和7年度学校ホームページにて、輝汐祭にむけた練習の様子を公開しております。是非ご覧ください。



1月には
「輝汐祭（展示の部）」
を計画しております。
保護者の皆さまは、
是非ご来校いただきたく、
よろしくお願いいたします。